

第2回門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館
指定管理者候補者選定委員会会議録

1. 開催日時 平成25年9月12日（木）午後6時00分から午後8時46分まで
2. 開催場所 門真市役所本館2階 大会議室
3. 出席者 （委員）萩原委員長、朝倉副委員長、岩田委員、柳原委員、山田委員
（事務局）脊戸地域教育文化課長、西山地域教育文化課長補佐、
藤田地域教育文化課主査、須上地域教育文化課係員
4. 内容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、休憩（集計）
審査結果の報告、総合評価、閉会
5. 傍聴定員 ー（非公開のため）
6. 担当部署 （担当課名）生涯学習部 地域教育文化課
（電話）06-6902-7197（直通）

7. 進行

【事務局】

開会に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第でございます。

資料1「第2回選定委員会予定表」でございます。

資料2「第2次審査評価個表（案）」でございます。

資料3「第1次審査結果報告」でございます。

本日、委員5人中5人が出席されておりますので、この会議は成立していることを報告いたします。それでは、この後の議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしくお願ひいたします。

【委員長】

それでは、第2回門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館指定管理者候補者選定委員会を開会します。第2次審査の方法などについて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、第2次審査の方法などについて事務局よりご説明します。

資料1「第2回選定委員会予定表」をご覧ください。本日は、プレゼンテーション審査である第2次審査を行っていただいた後、第1次審査と第2次審査を合わせた得点を参考に指定管理者候補者を決定する総合評価を行っていただきます。第2次審査は申請書類を本市に提出した株式会社 JTB コミュニケーションズ、特定非営利活動法人トイボックス、門真みらい創造プロジェクトの順にプレゼンテーション審査を行います。次に資料2「第2次審査評価個表(案)」をご覧ください。プレゼンテーション審査では、申請団体から施設事業計画に関するプレゼンテーションを10分以内で行っていただきます。その後、各委員から所定の質問を行っていただき、残った時間を自由に質問できる時間といたします。配点は表のとおりとし、右の覧に採点を整数で記載していただきますようお願いいたします。一人当たりの満点は100点とし、一団体あたりの満点は5人の委員を合わせた500点といたします。審査の前に「第2次審査評価個表」をお一人につき3枚配布いたします。回収は全ての申請団体が終わった後に行います。全ての団体のプレゼンテーション審査が終了しましたら、得点の集計を行うため休憩をお取りいただきます。集計結果がでましたら、第1次審査の得点と第2次審査の得点の合計を参考として、指定管理者の候補者を選定いただくための総合評価を行っていただきます。なお、第1次審査の得点は、資料3「第1次審査結果報告」のとおりです。以上の提案をご承認いただきましたら、記入用の「第2次審査評価個表」をお配りします。

また、本市では、団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていないか、団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいないかという2点について事務局より審査の前に確認をさせていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。以上で、第2次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

ただいま、事務局より第2次審査の方法などについて説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

それでは、これからプレゼンテーション審査に移らせていただきますので、申請団体を入室させてください。

《株式会社 JTB コミュニケーションズ 入室》

【事務局】

それでは審査の前に、2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていませんか。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

おりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

おりません。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに10分以内でプレゼンテーションを行ってください。10分後にタイマーがなりましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり遵守すべき事項となりますのでご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《株式会社 JTB コミュニケーションズ プレゼンテーション》

(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員】

質問① 指定管理者は単なる管理運営の受託者ではないと考えられますが、このことを踏まえて、門真市の文化芸術振興における本施設の指定管理者の役割について、どのように考えているか教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

公共サービスの担い手であり、公平性をもって質の高いサービスを提供するとともに、費用の低減を果したいと考えております。指定管理者としてサービスを提供していくなかで、市民団体の活動場所や資金をサポートし、各団体が自立できるように支援していきたいです。

【委員】

質問② 文化施設の管理運営を行う上で、その施設が地域の文化の拠点となっていくために、運営手法や我が国の文化政策に関する知識のみならず、文化そのものに対する理解など、文化を育てる者としての幅広い資質が必要かと考えます。つきましては、職員の資質向上のための研修をどのように考えているか教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

職員として新たに加わる方々に対し、文化芸術に対する関心やこれまでの実績や経験を重視し、新たに実施する講座やワークショップ等の新しい情報と実績をミックスしながら新しいスキルを磨いていけるような研修をしたいと考えています。また、文化芸術に関する情報収集や情報交換を行うことにより、職員の知識を磨いていきたいと思っています。

【委員】

質問③ 本施設は建設から20年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいますが、このような現状を踏まえてどのような修繕の実施、または教育委員会への提案を行おうと考えているか教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

まず、法律と照らし合わせて現状を詳細に把握します。その上で、利用者が安全安心に使用できるように緊急性が高い順番に修繕計画を立て、対応していきます。障がい者や高齢者、小さな子どもなど身体的に弱い方の目線に立って施設の改善を行い、運営上で改善できることは改善していきたいと考えています。

【委員】

質問④ 年間の収支が赤字となった場合、どのように対応しようと考えているか教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

収入に関しては、指定管理料として定められた額以上は入ってこないと考えているため、利用料等で収入が予定より少なくても当社が負担します。支出面として、消費税等の法令変更などの場合は行政と相談しながら対処しますが、光熱水費や人件費の値上がりは当社のリスクと考えています。

【委員】

質問⑤ 本市では、子どもたちがいきいきと暮らし、成長していける環境づくりを推進したいと考えておりますが、御社の自主事業のうち特にこれに寄与できると考えられる事業を挙げて、どのようなことをし、どのようなことが期待できるか具体的に教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

施設事業計画書の(3)～(4)に記載している事業がそれにあたり、どちらも親子で楽しんでいただける内容になっています。例えば、アーティストとの競演やアートワ

ークショップ、子ども達が自分のダンスを舞台上で発表するダンスコンテストの実施等があります。

【委員】

質問⑥ 電力の購入に関する契約について、どのように考えていますか。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

電力のコストが実際に年間どれくらいかかるのかを改めて検討します。その中で経済合理性と電力供給の安定性を考えて、低コストで電力を供給できる形を作っていきたいです。

【委員】

質問⑦ 今までの 40 数施設を管理されている中で、従来と違う活動が生まれたという事例はありますか。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

事例として、他市で行った市民ミュージカルがあります。脚本と演出はプロが行いますが、衣装や舞台等の制作は市民が行っております。今後はこのような事業を自立させるため、受益者負担で収支が図れるように意識しながら事業を実施します。

【委員】

質問⑧ 市民交流会館の提案について教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ プレゼンテーション】

市民交流会館の事業として、手作りクラフトマーケットを提案いたします。すでに同様のイベントを市民交流会館で実施されているため、その事業を引き継ぎ、実施していきたいと考えております。また、市民交流会館と同規模施設の管理を他市で行っておりますので、門真市にマッチングするものを取り入れていきたいと思っています。

【委員】

質問⑨ 多文化交流の推進を具体的に教えてください。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

国際交流という形で、他国のパフォーマンスを取り入れた取り組みを考えており、東南アジアやインドの文化を題材にした芸術や演劇を提供していきたいです。

【委員長】

それでは、これで審査を終了します。審査結果につきましては、11月頃、郵送にて通知させていただきます。ご苦労様でした。

【株式会社 JTB コミュニケーションズ】

ありがとうございました。

《株式会社 JTB コミュニケーションズ 退室》

《特定非営利活動法人トイボックス 入室》

【事務局】

それでは審査の前に、2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていませんか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

おりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

おりません。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに10分以内でプレゼンテーションを行ってください。10分後にタイマーがなりましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり遵守すべき事項となりますのでご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《特定非営利活動法人トイボックス プレゼンテーション》

(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員】

質問① 指定管理者は単なる管理運営の受託者ではないと考えられますが、このことを踏まえて、門真市の文化芸術振興における本施設の指定管理者の役割について、どのように考えているか教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

指定管理者の役割は「きっかけづくり」だと考えております。その1つ目として、「市民と市民」「市民と行政」の間を繋ぐネットワークになること、2つ目として、市民が文化に触れ合うことでそれを面白いと感じ、事業に参加していく中で、最終的には作り手として文化を提供できるようにしていきたいです。

【委員】

質問② 文化施設の管理運営を行う上で、その施設が地域の文化の拠点となっていくために、運営手法や我が国の文化政策に関する知識のみならず、文化そのもの

のに対する理解など、文化を育てる者としての幅広い資質が必要かと考えます。つきましては、職員の資質向上のための研修をどのように考えているか教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

モチベーションの部分ではミッションの再確認を各現場で行っています。職員の多くは様々な事業に携わり、ワークショップなどを通じてファシリテーターとしてのトレーニングを積んでいます。また、直接文化振興に関わる部署に配属し、市民と交流する事によりスキルを上げています。

【委員】

質問③ 本施設は建設から20年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいますが、このような現状を踏まえてどのような修繕の実施、または教育委員会への提案を行おうと考えているか教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

電源やポンプに関しては修繕を予定しておりますが、この5年間でかなり修繕されているので、大規模改修は必要ないと考えています。また、壁紙がかなり汚れているため、1年目に予算を多く見積って張り替える予定とし、キッズスペースの設置も検討しています。

【委員】

質問④ 年間の収支が赤字となった場合、どのように対応しようと考えているか教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

現在の指定管理者でございますので、今回の想定に関してはほぼ正確であると考えています。イレギュラーな光熱水費の値上がりや大規模修繕に関しては、市との協議事項だと思います。今まではNPO組織で得た利益は全て市民や他の事業に還元していましたが、これから4～5年間かけてストックしていき、赤字となった場合

はそのストックで補います。

【委員】

質問⑤ 本市では、子どもたちがいきいきと暮らし、成長していける環境づくりを推進したいと考えておりますが、御社の自主事業のうち特にこれに寄与できると考えられる事業を挙げて、どのようなことをし、どのようなことが期待できるか具体的に教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

カルチャースクールとしてサックスや親子ピアノ教室を通常の教室より低価格で提供しているほか、小学校へのアウトリーチ活動としてミニコンサートを実施しています。そうすることにより、子ども達が音楽に触れる機会、楽器に触れる機会、実際に見る機会を提供し、全ての子ども達にチャンスを与えたいと考えています。

【委員】

質問⑥ 自主事業の中で今後力を入れていきたいもの、改善したいもの、想定している事業のポイントがあれば教えてください。

【特定非営利活動法人トイボックス】

施設事業計画書のP75～P80 までにはすでに行っており、今後も続けていく事業です。新たな事業としては、小ホールで月1回古典芸能を行うこと、高校生の演劇大会を開催することを検討しています。ルミエールホールが若者の交流の場になり、学びのチャンスの輪を広げていけるようなホールでありたいと考えています。

【委員】

事業計画書に協働について記載されていますが、今後5年間は専門的な団体との協働により、ステップアップする動きをされるということですか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

これまで培ってきた地域のネットワークを活かして、門真市で個々に文化芸術活

動をされている方々の活動を繋ぐ役割をすることにより、より良いものを作るお手伝いができると考えています。

【委員】

質問⑦ コーラスのワークショップを行うことによりコーラスフェスティバルの活性化に繋がりたいとありますが、指定事業の課題についてどのように考えていますか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

引き継いだ当初、コーラスフェスティバルは市民に開かれた事業ではありませんでしたが、参加者や委員を公募するなど参加者自身が主体的にイベントを作るという機運を作ったことにより、3～4年で3倍ほど集客数が増加しました。市指定事業であるコーラスフェスティバルと吹奏楽フェスティバルについては、現在大きな課題は無いと考えていますが、事業全体のバランスの中で更なる工夫を行いたいと考えております。

【委員】

質問⑧ 電力の購入に関する契約についてどう考えていますか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

現状はルミエールホールがエネット、中塚荘は関西電力となっておりますが、現在、他社に見積りを依頼しておりますので、今後検討いたします。初期投資を図り LEDを設置することにより、電気料金を節約したいと考えています。

【委員】

質問⑨ 1つ目に、利用率の算出方法を教えてください。2つ目に、世界へ発信していきたいという夢を語っていただきましたが、どのような策を考えていますか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

利用率の算出方法は実際の利用回数÷利用可能回数（開館日数×3区分）です。次に、世界へ発信していくには、市民のネットワークの力で達成できる事業が次の世代へ繋がれていくことが重要だと考えております。例えば、現在行っているロビーコンサートなど、お金が無ければ発表できないというようなアーティストの卵に発表の機会を提供するといった、アーティストとして動き出す最初の1歩をサポートしていこうと考えております。こういった地道な活動に力を入れていきたいと考えております。

【委員】

質問⑩ NPO法人は財政的基盤が弱いように思いますが、想定外の大規模修繕が発生したときは、どのように考えていますか。

【特定非営利活動法人トイボックス】

大規模修繕は行政との協議事項になっており、一定の頻度を超えなければ協議でクリアできると考えています。300～500万円かかる大規模な修繕は市との協議または市のリスクになると考えています。

【委員長】

それでは、これで審査を終了します。審査結果につきましては、11月下旬頃、郵送にて通知させていただきます。ご苦勞様でした。

【特定非営利活動法人トイボックス】

ありがとうございました。

《特定非営利活動法人トイボックス 退室》

《門真みらい創造プロジェクト 入室》

【事務局】

それでは審査の前に、2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の

市長または議員が加わっていませんか。

【門真みらい創造プロジェクト】

おりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【門真みらい創造プロジェクト】

おりません。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに10分以内でプレゼンテーションを行ってください。10分後にタイマーがなりましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《門真みらい創造プロジェクト プレゼンテーション》

(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員】

質問① 指定管理者は単なる管理運営の受託者ではないと考えられますが、このことを踏まえて、門真市の文化芸術振興における本施設の指定管理者の役割について、どのように考えているか教えてください。

【門真みらい創造プロジェクト】

ルミエールホールや中塚荘を通じて、未来に担う子ども達の育成や市民と一緒に魅力ある地域文化事業を作り、発信していくことが門真市の街づくりに繋がると考えています。その役割として施設があり、管理運営する指定管理者の使命だと考えています。

【委員】

門真市の文化芸術の魅力とは、どういうところですか。

【門真みらい創造プロジェクト】

1つ目として、行政が文化芸術及び文化を通じたまちづくりに力を入れて取り組んでいることから、文化芸術の発展性・成長性に期待できると感じたことです。2つ目として、ルミエールホール及び中塚荘の業務内容が当社の専門分野を非常に活かされる事業だということです。3つ目として、子どもの成長をはかった事業を専門のプロと一緒に発信していきたいということです。

【委員】

質問② 文化施設の管理運営を行う上で、その施設が地域の文化の拠点となっていくために、運営手法や我が国の文化政策に関する知識のみならず文化そのものに対する理解など、文化を育てる者としての幅広い資質が必要かと考えます。つきましては、職員の資質向上のための研修をどのように考えているか教えてください。

【門真みらい創造プロジェクト】

年に1～2回、専門講師を迎えて文化施設の合同研修を行っています。また、行政が行っている講座にも出席し、情報の共有を図り、舞台スタッフの専門的な研修を独自に行っております。また、文化芸術経験者の雇用や地元の採用も積極的に行うつもりです。

【委員】

質問③ 本施設は建設から20年が経過し、施設の設備の老朽化が進んでいますが、このような現状を踏まえてどのような修繕の実施、または教育委員会への提案を行おうと考えているか教えてください。

【門真みらい創造プロジェクト】

修繕箇所を早期に発見し、修繕の予算に対して中・長期に分けた修繕計画を立て、市との協議を随時行い、老朽化の予防を行います。それにより施設の状態を維持するよう努めます。

【委員】

現時点で特に目立った箇所はありますか。

【門真みらい創造プロジェクト】

ルミエールホールであれば、中庭にありましたヒビ割れです。ヒビ割れは大きくなるものなので、利用者が怪我をしないよう、早急に処置したいと考えています。また、機器についても老朽化を踏まえて修繕を行います。

【委員】

具体的に改善すべき箇所はありますか。

【門真みらい創造プロジェクト】

ルミエールホールの情報コーナーです。もっと多くの文化芸術方法を提供し、市民が文化情報を収集できる場所にするほか、オブジェ等の設置によって文化空間を演出したいです。また、中塚荘には学芸員を配置し、市民がいつでも相談できる体制を整えたいと思います。

【委員】

質問④ 年間の収支が赤字となった場合、どのように対応しようと考えているか教えてください。

【門真みらい創造プロジェクト】

リスクの分担は協定書で決めておりますが、基本的には国際ライフパートナーが他の収益事業から賄います。

【委員】

質問⑤ 本市では、子どもたちがいきいきと暮らし、成長していける環境づくりを推進したいと考えておりますが、御社の自主事業のうち特にこれに寄与できると考えられる事業を挙げて、どのようなことをし、どのようなことが期待できるか具体的に教えてください。

【門真みらい創造プロジェクト】

今の子ども達が、将来この市に戻って来たいと思えるようなサイクルを目指していきたいと考えております。例えば、文化芸術に触れる機会の提供として、美術館であれば子どもに開放する日を設定するほか、子どもを預かる施設を併設することなどにより、小さい頃から文化芸術に触れあう環境を作りたいと考えています。

【委員】

質問⑥ 1つ目として、3社で指定管理を受けた実績があるかどうか、文化施設を3社で運営することについてどのように考えているか教えてください。2つ目に、プレゼンテーションのときに門真市のエコミュージアム化とおっしゃられました。どういうことですか。

【門真みらい創造プロジェクト】

1つ目として、3社でのコンソーシアムは初めてですが、国際ライフパートナーとパシフィックアートセンターグループ、国際ライフパートナーと小学館集英社プロダクションの2社共同はこれまでにあります。提出した事業計画は3社でなければ実現しないと考えており、他施設においても利用者が増えておりますので、管理運営には自信があります。2つ目に、門真市では文化資源が薄いことに鑑みまして、新たな有形無形の文化を創り、それをまとめるようなアートフェスティバルを開催

することにより、市外から見に来てもらえるようなサイクルを作りたいということを考えております。

【委員】

質問⑦ 自主事業として、どのような地域密着型事業の提案をしていくのですか。また、地域を主役にした事業の実績はありますか。

【門真みらい創造プロジェクト】

基本的には3社でプロジェクトチームを作り、各自の一番強いネットワークを有効に活用してプランを作り、事業を実施いたします。地域が主役の事業としましては、アウトリーチ活動などを行っているほか、市民参画型のダンスコンサートを行い、毎年参加者も増えています。

【委員】

質問⑧ 電力の購入に関する契約についてどう考えていますか。

【門真みらい創造プロジェクト】

エネットでの継続契約を第一に考えていますが、当社が関西圏で契約しているエネサーブと比較して、市と協議して進めていきたいと思っています。

【委員】

質問⑨ 若い世代に対する提案は伺いましたが、高齢者に関する提案はありますか。

【門真みらい創造プロジェクト】

若者向けと高齢者向けに分けたコンサートセレクションを予定しています。具体的には「門真市名曲100選プロジェクト」として、高齢者向けに実施することを計画しており、これは他市での実績があります。他にも「吉本新喜劇・古典芸能・落語・歌舞伎・能・狂言」なども考えています。また、余暇を持て余している高齢者の交流サロンとして、中塚荘を利用することを考えています。

【委員】

「やりたい」なのか、「やるつもり」なのか、「やります」なのか、どうですか。

【門真みらい創造プロジェクト】

やります。市と協議の上、きちっとした計画を作っていきます。ただし、5年間で自分たちの目指すものが全てできるとは思っておらず、10年、15年とずっとやらせていただく気持ちで、ここにあげたものに関しては、やらせていただきたいと思います。

【委員長】

それでは、これで審査を終了します。審査結果につきましては、11月下旬頃、郵送にて通知させていただきます。ご苦勞様でした。

【門真みらい創造プロジェクト】

ありがとうございました。

《門真みらい創造プロジェクト 退室》

【委員長】

それでは、事務局は第2次審査評価個表を回収し、集計を始めてください。これより集計結果がでるまで休憩とします。

《休憩および集計》

【委員長】

それでは委員会を再開します。まず、集計結果について事務局から報告をお願いします。

【事務局】

それでは、集計結果について報告します。集計結果は第1次審査と第2次審査を

合わせた得点をご報告します。

第1位は、【特定非営利活動法人トイボックス】で、1,207点です。

第2位は、【門真みらい創造プロジェクト】で、1,172点です。

第3位は、【株式会社 JTB コミュニケーションズ】で、1,028点です。

以上で、集計結果の報告を終わります。

【委員長】

次に、この結果を受けた総合評価に移らせていただきます。第1次書類審査及び第2次プレゼンテーション審査を通して、委員の皆さんから評価・選定に関してご意見を伺いたいと思います。

【委員】

トイボックスについては、実績に基づいて具体的に細かい工夫を考えている点に説得力があって評価しました。みらい創造については、内容は大きかったのですが具体性に欠けていて不安を感じました。JTB はどうも迫力がなくて、説得されませんでした。

【委員】

トイボックスは実績があり、これからも市民に携わっていこうというのがよくわかりました。みらい創造は、説明は素晴らしかったのですが、市民との関わりが具体的に見えませんでした。JTB は聞いていて説得されませんでした。

【委員】

トイボックスは、これから先に新しい提案があるように思えませんでしたので、評価できませんでした。JTB は面白さがありませんでした。みらい創造は大きい内容でしたが、やらせてみたいと思いました。

【委員】

JTB は私も迫力を感じませんでした。みらい創造のプレゼンテーションはすばらしく、それに僅差のトイボックスかと思いましたが、トイボックスの実績は捨てが

たいので、それを活かして頑張ってもらいたいという気持ちもあります。

【委員】

指定管理者制度の本来の主旨は経費削減ではなく、行政と市民の間を繋ぐ第三者として、行政にも対等な意見を言い、市民に寄り添った施設運営の部分を強く求められる点だと考えており、その点からトイボックスの姿勢の方が評価できると思いました。実績があることから厳しく審査しましたが、これから先、市民との協働を進めていこうという姿勢がみらい創造より半歩先に行っていると感じました。

【委員長】

まず、JTB は選定外ということによろしいかと思いますが、再度、1位と2位をどうするのかについて、意見をいただきたいと思います。

【委員】

私はこの結果で結構です。プレゼンテーションを聞いた印象では、実績を踏まえて次に向かおうという姿勢を感じました。

【委員】

結構です。

【委員】

私自身はトイボックスが継続されてもこれ以上良いものがでてこないような気がします。結果につきましてはこれで結構かと思います。

【委員】

私も総合得点の順位のままとしていただいて結構です。

【委員長】

では、委員の意見が一致しましたので、指定管理者の候補者は「特定非営利活動法人トイボックス」に決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員一同】

異議なし

【委員長】

最後に、最近、NPO 法人と株式会社が競うことが多くなりましたが、資金が潤沢でないため、本当に任せても大丈夫かという懸念が、常に他の市でも議論になります。市民に寄り添うのは小さな団体の方に強みがあるのですが、大きな財団が資金保障するなど NPO 法人を支えるような仕組みが考えられるべきではないかと思えます。

【委員】

感想として、1次審査結果と2次審査結果を合計するのではなくて、2次審査は1次審査の得点を引き継がずに競った方がよいのではないかと感じました。

【委員長】

事務局は、点数化の方法などその辺りの課題を整理して、次に繋げていただきますようお願いいたします。それでは、以上のおり、教育委員会に答申を行うことと決定します。それでは、今後のことについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、今後のことなどについてご説明させていただきます。

まず、指定管理者候補者を教育委員会に答申してから指定管理者として決定されるまでの手続きについてご説明します。本日の総合評価により指定管理者候補者として選定された団体を、10月下旬に開催されます門真市教育委員会に上程し、議決を求めます。議決されましたら、申請団体に対して選定または不選定の通知を郵送により発送するとともに、12月下旬に開催される門真市議会平成25年第4回定例会に上程し、議決を求めます。この議決をもって候補者は指定管理者として指定されます。委員の皆様におかれましては、門真市教育委員会に上程される10月下旬までは審査の結果について口外されませんようお願いいたします。また審査の内容に

つきましては、会議録によって公開されますが、その内容につきましては作成出来次第、皆様に事前確認していただきます。

次に、会議録の公開について、門真市教育委員会で指定管理者の候補者が選定された後に公開したいと考えておりますので、今後、ご発言の個所の確認をお願いいたします。

【委員長】

ただいま、事務局より今後のことなどについて説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんか。それでは、以上をもちまして、第2回門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館指定管理者候補者選定委員会を閉会します。

【事務局】

大変お忙しいなか貴重なお時間を割いていただき、門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館にふさわしい指定管理者候補者を選定いただきましたことを、事務局一同、心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。